6部

4月新入生の方へ

今年の新入生は東日本大震災の大変な時期に入学されることになりました。さまざまに困難な事情もあるとは思いますが，可能な方は学習継続の意思をしっかり持って学習をスタートさせてください。

震災前にご出願いただいた方で震災により状況が一変した場合は，23年度は特別に入学１年目の休学もお認めしており休学費は無料としておりますので，ｐ．６～７をお読みいただき，４月末までに手続きをお願いいたします。残念ながら入学辞退をする方は，「入学辞退届」（様式任意）とともに４月末までにお送りしたものをご返送ください。

新入生の方は，入学許可時に『学習の手引き』や『レポート課題集』が，また，履修登録をすると教科書が一度に送られてきて，何から手をつけていいかわからない，という気持ちになっておられるかもしれません。

昨年までに入学された方々も最初から順調だった人はごくわずかだったようです。下記のご案内も参考に，ご自分なりの学習のペースをつかんでいただくことを願っています。

1 『学習の手引き』について

通信教育部の学習方法の基本をつかむためにも，まずはお読みください。ｐ．２～17と１・２章を読めば，通信教育部での学習方法の概略と履修登録の方法はつかめると思います。

なお，今後『With』などで『学習の手引き』を参照していただく場合，新入生の方は2011年版のページをご覧ください。

2 『レポート課題集』について

■1 レポート課題集の構成について

『レポート課題集2011』（2分冊）は，①1・2年次配当科目が掲載された冊子と②3・4年次配当科目・特別支援学校免許状関連科目が掲載された冊子の2分冊になっています。ご自分に必要な科目がどこに掲載されているかは，各分冊冒頭の目次・索引でさがしてください。

この『レポート課題集』は，在宅学習の中心であるレポートを書く際には熟読する必要があります。レポートの基本は，課題が何を求めているかをよく読みとることです。また，担当教員からのアドバイスを読めば，書くべき方向がつかめてくる科目も多くあります。何度も何度も読んで，レポートを書いていってください。

②3・4年次配当科目の冒頭p.16〜30は皆さんがお読みください。スクーリングや科目修了試験の開催日程が記載されています。ただし，この部分の情報は，4月初旬発行予定の『試験・スクーリング情報ブック2011』刊行後はそちらの方が新しい情報となりますので，ご注意ください。

■2 受講条件のつく科目をご確認ください

社会福祉士・精神保健福祉士・教職免許状取得希望者で，2・3年次編入学者，科目等履修生は，下記の，入学後早期に受講条件のつく科目の『レポート課題集』記載の条件は，必読の内容です。社会福祉士希望者の「社会福祉援助技術演習A」など，入学後早い段階でスクーリングを申し込む必要のある科目もあります。

●入学後早期に受講条件のつく科目

社会福祉士希望者　「社会福祉援助技術演習A」→　「演習B」

精神保健福祉士希望者　「精神保健福祉援助演習」

高等学校教諭一種免許状（福祉）希望者　「介護実習事前事後指導」
特別支援学校教諭一種免許状　「障害者教育実習の事前・事後指導」

3　『With』について

この『With』は，年 8 回発行されるもので（今後の発行予定：4 ／30，6 ／ 1，8／ 1，9／22，11／ 5，12／10，1 ／25，3 ／23），科目修了試験・スクーリングの申込み案内や学生の皆様に連絡したい内容が記載されています。**到着したら必ずご一読をお願いいたします。**

また，上記発行日から 5 日がたっても『With』が未着の場合は，上記発行日から10日間以内に通信教育部に未着の申し出を行ってください。

申し出を行わない場合，無料での再送付はできなくなります。

4　学習ガイダンスを行います

以下の日程で学習ガイダンスを行います。学習ガイダンスは，『学習の手引き』をもとに，通信教育部で学習を始めるにあたって是非知っておいてほしいこと（学習の進め方や諸手続き，およびレポートの書き方など）を解説するものです。

参加は任意ですが，ご都合のつく方は是非ご出席ください。できるだけ開始時間にお集まりください。当日参加も可能ですが，できましたら巻末の用紙を利用して，FAXや郵送，または同様の内容を記して電子メールでの事前の申込みをお願いいたします。

会場地図については，4 月20日発行予定の『試験・スクーリング　情報ブック2011』をご覧ください。

なお，ガイダンスの参加の有無にかかわらず，『学習の手引き』p. 14記載のとおり，学習を進めていくうえで疑問な点が出たら，遠慮なく通信教育部事務室あてにご質問ください。

開催日	時間	開催地	会場
4／9(土)	11：00〜13：00	仙台	東北福祉大学　本館3階第1会議室
4／23(土)	14：00〜16：00		東北福祉大学　1号館3階130教室
5／2(月)	14：40〜16：10		東北福祉大学　マルチメディア教室
5／5(木)	14：40〜16：10		東北福祉大学　マルチメディア教室
5／14(土)	14：00〜16：00		東北福祉大学　本館4階中会議室
6／19(日)	14：40〜16：10		東北福祉大学　1号館3階131教室
4／23(土)	10：00〜11：30	札幌	ポルト　8階大会議室
5／3(火)	17：50〜19：20		ポルト　8階大会議室
6／25(土)	17：15〜18：30		ポルト　8階大会議室
5／7(土)	10：00〜12：00	青森	アウガ　5階研修室
4／9(土)	13：30〜15：30	秋田	秋田県生涯学習センター　5階第3研修室
5／7(土)	10：00〜12：00		秋田県生涯学習センター　5階第3研修室
4／10(日)	13：30〜15：30	盛岡	アイーナ　7階会議室702
5／8(日)	13：15〜15：15		アイーナ　8階会議室803
6／25(土)	10：00〜11：30		会場未定（5月末以降お問い合わせください）
5／7(土)	10：00〜12：00	福島	福島テルサ　あづま
5／8(日)	13：30〜15：00	土浦	茨城県県南生涯学習センター　5階小講座室2【会場変更】
5／8(日)	13：15〜15：15	東京	世田谷学園高等学校　修道館ホール
5／8(日)	13：15〜15：15	新潟	新潟医療福祉カレッジ　2号館

5　学習時間の確保について

通信教育部の学習を順調に進行させるうえで欠かせないのが，生活のなかで学習する時間を自分で見つける・つくることです。できれば毎日5分でも10分でもいいので，教科書や『レポート課題集』を読んだり，図書館

や本屋さんで参考図書をさがしたり，レポートを書きだしてみる時間を確保してください。

6 レポートについて

入学当初は，レポートをどう書いていってよいかわからないという方が多いと思います。みなさん，学習を進めていく過程で次第に慣れていくものです。まずは，下記のようなことを進めてみてください。

⑴ 『学習の手引き』のｐ. 33～36や 6 章，そして入学時に配付した『自立学習の手引き』などをご一読いただければと思います。

⑵ 「学習ガイダンス」でも，レポートの書き方は案内されますので，ご参加ください。

⑶ 「基礎演習」という科目を履修登録してスクーリングを受講したり，「レポート学習会」（ 6 月以降実施予定）に参加してみたりするのもひとつの手です。

⑷ その科目のスクーリングを受講することは大変有効です。

⑸ ISDN以上の回線でインターネットに接続できるパソコンを所持している方は「オンデマンド型授業」（『学習の手引き』ｐ. 206～207, 221～225参照）視聴の要領で，一部の科目について，担当教員からの動画のメッセージを視聴することができます（無料）。

⑹ ある程度学習を進めたら，レポートを書き始めてみてください。また，一応の流れができたと思ったら，提出してみてください。

⑺ レポートにはさまざまな約束事はありますが，基本は教科書や関連する本で学んだことを，担当教員に伝えるつもりでまとめることです。身近な具体例と関連させたり，自分の考えをその理由とともに述べられるようになるとさらによいでしょう。

⑻ じっくり学習していくと，いろんなことを調べたくなったり，さまざまな本が読みたくなったりするものです。ひとつの課題について2～3年考え続けたり，情報を集め続けたりするのも，それはそれでよいことではあります。しかし，ある程度レポートを出して，形にしていかないと，卒業までかなり年数がかかることになってしまいます。どこかで区切りを付けてレポートを出してみることをお勧めします。

7 学習計画について

学習を始めるにあたっては，またはある程度学習のペースがつかめた段階で，学習計画をたてることも大切です。

⑴ R or SR科目の場合，この科目はスクーリングを受講するのか，科目修了試験受験で単位をとるのか。

⑵ 科目修了試験を受験する場合は，何月の試験の締切を目標にレポートを提出するのか＝入学後すぐ4／21までにレポートを提出し，5月の試験を受験するのはごく一部の方です＝を計画してみてください。ここまでにレポートを提出できなくても，あきらめる必要はまったくありませんので，念のため。

⑶ できるだけ，スクーリングを受講してください。どのスクーリングに参加するのか計画してみてください。卒業をめざす方は，受講した科目の半分程度はスクーリングを受講しないと，卒業に必要なスクーリング単位が不足してしまいます（スクーリング単位については『学習の手引き』p. 194参照）。

⑷ 共通基礎科目は専門科目よりやさしいとは限りません。取り組みやすそうな科目，興味・関心のもてる科目から，学習をスタートさせてください。

自分で目標をたてて締切を設定することは，学習の進み具合が学生の自主性にまかされている通信教育部での学習では大変有効です。計画どおりいかないとは思いますが，努力してみてください。

8 スクーリングについて

通信教育部で学ぶ楽しみのひとつに，スクーリングがあります。スクーリングに参加すれば，さまざまなメリットがあります。

・担当教員の講義を聞くことで科目の内容についての理解を深められる。
・教科書も読みやすくなり，レポートも書きやすくなる。
・共に学ぶ知り合いができて，それが在宅学習の励みにもなる。
・スクーリング単位が修得できる。

スクーリング受講のためには，受講１～２カ月前の『With』巻末のハガキで申込むことが必要です。受講料は必要ですが，スクーリングに積極的に参加されている方のほうが，修得単位数も多く，早期に卒業が見込める，という傾向もあります。

スクーリングの年間計画は，現時点では『レポート課題集2011（３・４年次)』p. 19～30のとおりです。募集要項でのご案内から変更になっているものもございますので，ご注意ください。

9 学生証の送付について

学生証は４月20日以降に発送させていただきます（教科書とは別便です)。

なお，スクーリング申込みやレポート提出は，バーコード到着まではバーコードなしで結構です。